

令和6年度 第3回一ノ宮小学校 学校運営協議会 実施報告書

- 1 日 時 令和6年9月27日（金）13:45～14:40
- 2 場 所 校長室 及び 各教室
- 3 委員長あいさつ
- 4 授業参観 13:50～14:35

【参観後の感想より】

- 1年生が先生の一声で注目したり、教科書を集中して見たりしていた。素直な態度が一番素晴らしい。
- どのクラスも、自分の想像を超える静けさで驚いた。2年生の図工でもおしゃべりもほとんどなく、集中して工作に取り組んでいた。
- 3年生では、体育の授業でマットができなくて悔しかったというつづりをぬくぬくタイムとして取り挙げていた。グループになって話し合う時に鉛筆などは持たずに自分の意見をまとめて、他人に分かってもらうようまとめていた。大事な活動である。
- 3年生の人権総合では、友達の気持ちに寄り添って考えていた。イライラした時はどうするか、また、謝れないときの気持ちを共有してそんな時はどうすればよいのかを考えていた。お互いに振り返ることが必要で、最後はお互いに「ありがとうの気持ち」で納得していた。
- 発表もみんな立派で、特に4年生では積極的な行動力が印象的であった。
- 4年生はみんなの意見を聞いて、自らも発表をしていた中に、友を思いやるやさしさが出ていた。
- 4年生の「わたしの大切なもの」では、ワークブックにひとりひとりがまとめていた。話し合いはどのようにするのかと思った。
- 5年生の「今までの自分をみつめよう」では、グループに分かれて自分の意見を言うというスタイルあった。とてもよいと感じた。
- 5年生の「非認知能力について」の授業では、先生の授業内容が分かりやすく、クラス全体が落ち着いて授業を受けていた。グループ討議の時、どの子も発言をしており「そうそう！」「そうやなあ」など共感をする声が多く出ていた。話し合いや考える時間には、タイマーを使用しており、どの子もメリハリのある行動がとれていた。また先生が個々に寄り添って進めているのがよかった。

- 5年生の「非認知能力について」の授業は、自分が受けても興味深い授業で、先生方がどのように授業を展開して進めていくのか、つい見入ってしまった。素敵な授業だった。
- 6年生の人権総合では、そもそもなぜ人権学習をするのかというテーマであった。「みんな仲良く暮らすため」「障がいのある人も楽しく」「自分らしく生きるため」「世界全ての人が平等に過ごすため」「個性を大切にするため」「みんな同じ人間だから」「認め合うため」などの意見が出ていた。3年生と6年生では年齢差があるものの、考え方の基本は同じであった。上の学年へ進む過程として、幅の広いバックグラウンドが必要であると感じた。
- トイレのスリッパもきれいに並んでいた。体育施設開放の時に気になるのだが、体育館だけなぜ散らばるのか不思議になった。
- 階段を上るとき、段の側面に九九が貼ってあり、毎日見ていたら覚えられるナイスアイデアだと感じた。
- 初めて参観をした。低学年の子どもたちも非常に落ち着いた雰囲気であることに感心した。授業にも大半の子どもたちはまじめに取り組んでおり、想像していたよりずっと統率がとれていると感じた。その反面、普段の姿が分からないので当てはまらないかもしれないが、子どもらしいやんちゃな面がなく、少し全体的には気がないように感じた。
- 45分では内容が多すぎると感じた。グループに分かれたりすると時間が必要となる。自分の考えをまとめて、お互いに話し合うことは非常に重要なので必要であるが、時間配分の工夫が必要だと思う。
- 子どもたちには、何かにチャレンジして欲しいと思う。
- どのクラスも授業態度は、非常に静かで集中していた。

5 連絡

第4回学校運営協議会は神戸中学校区での合同学校運営協議会

日時：11月12日（火）16：00～17：30

場所：神戸中学校

内容：講演「非認知能力の育成について」 など